

# 社会資本総合整備計画

計画の名称	11 県北山間部へのアクセス向上による持続可能で活力ある地域づくり													
計画の期間	平成25年度～平成28年度 (4年間)	交付団体	茨城県											
計画の目標	豊かな自然や観光地、地場産業など多様な地域資源が数多く分布している県北山間部では高速道路が整備されておらず、周辺の常磐道、北関東へのアクセスや地域内の連携を向上させるための道路整備が必要不可欠であることから、高速道路I Cと県北山間部の主要地域又は県北山間部の主要地域相互間のアクセス向上のための道路整備と、併せて観光振興や地場産業の活性化を図る施策、さらに、同じ東日本大震災の被災地である福島県境との交流圏域の拡大を図り、復興を支援していく道路整備を進め、持続可能で活力ある地域づくりを目指す。													
計画の成果目標 (アウトカム指標)	・高速道路I Cと県北山間部の主要地域間や福島県境地域、主要地域間相互のアクセス時間短縮度162 (r/日) を達成													
アウトカム指標の定義及び算定式			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3">アウトカム指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H26末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.0hr/日</td> <td style="text-align: center;">61hr/日</td> <td style="text-align: center;">162hr/日</td> <td></td> </tr> </table>	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	0.0hr/日	61hr/日	162hr/日	
アウトカム指標の現況値及び目標値			備考											
当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)												
0.0hr/日	61hr/日	162hr/日												
	$\text{高速道路I Cと県北山間部の主要地域間や福島県境地域、主要地域間相互のアクセス時間の短縮度を算出} \\ (\text{アクセス時間短縮度: h/日}) = \Sigma [ (\text{整備延長: km}) \times (\text{短縮時間: h/km} \cdot \text{台}) \times (\text{当該地点交通量: 台/日}) ]$													

交付対象事業												
A 地方道路整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	備考
11-A1	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道118号 袋田B P	バイパス L=1.71km	大子町	
11-A2	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道461号 水府里美拉幅	現道拡幅 L=3.28km	常陸太田市	
11-A3	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道123号 御前山拡幅	現道拡幅 L=0.60km	常陸大宮市	
11-A4	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道461号 安良川拡幅	現道拡幅 L=0.68km	高萩市	
11-A5	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 門井山方線	バイパス L=0.16km	常陸大宮市	
11-A6	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 下桧沢上小瀬線	バイパス L=3.00km	常陸大宮市	
11-A7	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 常陸太田那須烏山線	バイパス L=0.84km	常陸大宮市	
11-A8	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 八溝山公園線	現道拡幅 L=6.80km	大子町	
11-A9	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道461号 大子B P	バイパス L=0.60km	大子町	

B 関連社会資本整備事業											
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	備考

C 効果促進事業											
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	備考
11-C1	調査	一般	茨城県	直接		調査	0.55	社会資本総合整備計画評価	中間評価, 事後評価	常陸大宮市 外	
11-C2	調査	一般	茨城県	直接		調査	0.55	観光動態調査	観光施設への観光客数を調査	大子町 外	
11-C3	調査	一般	茨城県	直接		社会実験	0.55	周遊バス社会実験	観光施設への観光客数を調査	大子町 外	
11-C4	調査	一般	茨城県	直接		調査	0.55	県北観光地周遊観光道路支援事業	交通円滑化対策	大子町 外	
11-C5	施設整備	一般	茨城県	直接		その他	0.55	道路防災機能改善事業	道路防災機能改善施設の設置	日立市 外	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
11-C1	中間評価, 事後評価を実施することにより, 当計画の効率的, 効果的な展開を図る	
11-C2	道路整備と観光客数の関係を調査することにより, 当計画の効率的, 効果的な展開を図る	
11-C3	道路整備と観光客数の関係を調査することにより, 当計画の効率的, 効果的な展開を図る	
11-C4	県北地域の主要な観光地である大子町や笠間市等の交通円滑化対策を検討, 実施することにより, 観光シーズンの渋滞緩和等が図られ, 観光客の増加が期待される	
11-C5	道路整備と一体となって整備することにより, 観光客の利便性, 安全性が向上し, 当計画の効率的, 効果的な展開が図られる	

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況						国道118号袋田バイパスや県道下檜沢上小瀬線バイパスの整備を行った結果、交通の流れもスムーズになり、移動時間の短縮を図ることができたが、一部路線で用地難航や軟弱地盤の影響により事業の進捗が遅れ、定量的指標の目標は達成されなかった。					
II 定量的指標の達成状況				指標(交通結節点(高速道路I C及び鉄道駅等)と観光地及び観光地相互間のアクセス時間の短縮度(hr/	中間目標値	61hr/日	中間実績値	42hr/日	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収が難航し、事業着手が遅れている。</li> <li>・軟弱地盤がみづかり、地盤改良に時間を要している。</li> </ul>	

3. 特記事項(今後の方針等)											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の方針として、事業継続中の箇所は早期供用できるよう事業進捗を図る。</li> <li>・なお、本計画の要素事業は平成27年度より別計画の【21: 個性ある地域や多様な拠点を道路ネットワークで繋ぐ魅力あるいばらきづくり】・【22: 交通拠点や産業拠点を繋ぐ道路ネットワーク強化による活力あるいばらきづくり】に移行し、継続して実施していく。</li> </ul>											